



【立山登山に向けての体力づくり】

- 8月下旬に、6年生の立山登山があります。立山登山には、体力が必要です。そこで、6年生は、今週の月曜日から、朝登校した子供からグラウンド3周を走り、(グラウンドを降りる) 階段の昇り降りを15往復をしています。今日は、いつもより早く登校し、校庭にランドセルを下ろしてすぐに走り出す子供が多かったです。中にはグラウンド10周した子供もいました。担任も、自分の能力に合わせて子供と一緒に走っています。
- 私は6年生を担当して立山登山をしたとき、やはり子供たちの体力づくりに取り組んでいました。何十kgもある荷物のかついで、校内の階段を登り降りしたこともありました。山は気圧が高く、空気も薄いという独特の環境です。特に、行きは子供にとって苦しい場所もあります。そんなとき、**日頃鍛えている成果**が出ます。今、鍛えていることは、立山を登るにあたって大切な活動であり、それに**意欲的に、一生懸命に取り組む子供たちの目的意識の高さ**に驚かされます。
- また、私は、今朝、6年生の走っている姿を見て、30年前の井波小学校で行っていた「**スーパー チャレンジ タイム**」を思い出しました。昨年度の「ふるさと井波」にも書いたのですが、当時の東砺波郡の連合運動会での「全員持久走」の競技で課題となった「井波小学校の子供の体力不足」に対して、「**強い井波っ子**」を育てるという、当時の四辻校長先生の学校経営方針の下で行ったものでした。朝、登校した子供から自主的にグラウンドを走る活動でした。登校後、ほぼ全員の子供がグラウンドを走っていました。私は、今朝、今の6年生のグラウンドを走っている姿を見て、30年前の「スーパー チャレンジ タイム」が脳裏に浮かんだのです。
- 「**強い井波っ子**」を目指して、**先輩方が取り組んできた体力づくりの伝統**が、復活しているのではないかと一瞬感じました。時代が変わって、現在、教育課題の複雑さ、多様な教育活動、教職員の働き方改革等で、30年前のようなことはできません。しかし、**立山登山という目的に向かって体力づくりをしている6年生の姿**は、**当時の姿と重なって見えました**。

